

「絶対にやり直す」という覚悟のある人と、それを応援する企業のための求人誌



在任人・映画監督
稲川 祐さん
特選
依存症治療拠点機関
三光病院 院長
海野 順さん
連載
コアアゲンはいどうまん | Paix® | Z 季

少年院・留置場・拘置所・刑務所内でも面接可能！
全社身元引受可能、社宅・寮完備！
新規7社を含む全37社掲載！！

有効期限
2024/11/30



着物から着物地へ 日本から世界へ
着物 de お針子

手に職をつける「着物deお針子」で自立支援

日本から届いた着物がモンゴルの人たちを魅了している



アリウン・サナーさん
「着物deお針子」プロジェクトのデザイナー。モンゴルでデザインを学ぶ学生や障がい者の方、シングルマザーの方に着物生地を使ったお針子指導を行なっている。

● 5年前に出会ってから日本のお針子反物*に夢中！

みなさん、こんにちは！「着物deお針子」プロジェクトでデザイナーをしているサナーです。日本の着物は、色も柄も個性的で世界に1つしかない特別感のあるアイテムを作れるのが本当に楽しいです。5年前にお針子反物に出会って以来、他の生地を使うのを止めてしまったほど、着物に魅了されています。お針子反物を見ていると「こんな風で作って」と生地が訴えてきて、作品のアイデアがたくさん湧いてきます。不思議なことに、これは私に限ったことではなく、デザイナー仲間も生徒さんも同じことを言いますよ(笑)。

*お針子反物…着物deお針子で集まった着物を使用して製作した反物 (Upcycle Cloth OHARIKO)

● 個性的で誰も被らないものができる

お針子反物を使ったアイテムは、モンゴルでもとても人気です。実は、一般的にモンゴルの人たちは誰かが使っていた衣服を着ることを嫌がります。でも、着物だけは別。古着になっても価値は変わりません。なぜならとても個性的で他の誰も被らないものができるからです。自分だけの特別な一着になるところが、モンゴルの人たちに好まれます。最も人気なのは黒色の生地ですね。



サナーさんが製作したモンゴルの伝統衣装モデル



「着物deお針子」コールセンター
お問い合わせ番号 0120-544-034

受付時間 9:00～17:30 (土日祝も受付)

日本リユースシステム株式会社

多くの人が黒い生地で、モンゴルの伝統衣装であるデールを作りたいと言います。一方、赤やピンク、紫や青、黄色など華やかな色も人気があります。特に、遊牧民たちは派手なものが好きで「もっと派手なものはありませんか？」と聞かれることもあります。



着物の帯を使って製作した帽子やブーツ

● 貧困層の方々のビジネスチャンスに

裁縫で家計を支えることはモンゴルでは珍しくありませんが、収入が低い人たちは材料を仕入れるのに苦労します。「着物deお針子」では、仕入れルートや部品調達の手配も行っており、アイデア次第で価値のある商品ができますので、ビジネスチャンスになります。実際、これまで



貧困層やシングルマザー、学生たちへの技術指導

約3,000人の方々に針子指導をしましたが、5人の方が自分のブランドを立ち上げました。スタッフを雇ってビジネスを拡張しているシングルマザーの方もいます。彼らと一緒にいい作品をたくさん作って、モンゴルの人たちにアップサイクル*の考え方を浸透させていけたらいいと思っています。

*アップサイクル…廃棄予定であったものの素材や形などの特徴を生かし、価値をつけて新しい製品へと生まれ変わらせる手法

障がいのある方もデザイナーとして活躍！

障がいのある方がお針子指導を受けて秘めた才能を開花することも。着物の特徴を活かした作品(写真)がモンゴルで人気を集めている。